

日本の小児における予防接種スケジュール

◆ ワクチン名 ◆	(年齢)		0歳											1歳											2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	備考
	(月齢)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11								
B型肝炎		←①	②	—	→							←③	—	→																		母子感染の危険性が高い場合 分娩直後に接種
Hib			←①	②	③	→								←	—	—	—	—	④	—	→											年齢により接種回数が異なる ※1
小児用肺炎球菌			←①	②	③	→								←	—	④	→															年齢により接種回数が異なる ※2
三種混合				←①	②	③	—	—	→					←	—	—	—	—	④	—	—	—	—	→							二種混合(DT)を11歳で追加接種 (11歳~12歳)	
BCG				←	①	→																									肩峰に近い部分はケロイド発生率高い 例外的に1歳までの定期接種が認められることがある	
ポリオ							←①	—	—	②	—	—	—	—	—	—	—	—	→												※4	下痢のときは接種しない
MR(麻疹・風疹混合)														①→																	←②※3→	1歳を過ぎたら麻疹は最優先して接種する
水ぼうそう(水痘)														←	—	①	→															水痘患者と接触後、緊急接種は有効 (48~72時間以内)
おたふくかぜ														←	—	①	→															副反応に無菌性髄膜炎あり
日本脳炎																															①②③	9歳で追加接種 (9歳~12歳) ※5
インフルエンザ																																毎年2月、10月、11月頃に接種 卵アレルギーに注意

定期予防接種の対象年齢
 任意接種の接種できる年齢

← — → 標準的な接種時期(数字は接種回数)

【!】
 この接種スケジュールはあくまでも標準的なものを提示したものです。

 具体的な実施方法については
 自治体やかかりつけ医の予定や指導に従いましょう。

 多くのワクチンが生後6ヶ月以降である理由は、
 赤ちゃんは生後4~6ヶ月までは母体からの移行抗体で守られているからです。

- ※1・・・生後2ヶ月~7ヶ月未満 4回
 7ヶ月~12ヶ月未満 3回
 1歳以上~5歳未満 1回

- ※2・・・生後2ヶ月~7ヶ月未満 4回
 7ヶ月~12ヶ月未満 3回
 1歳以上~ 2回
 2歳以上~9歳以下 1回

- ※3・・・小学校入学の前年に追加接種

- ※4・・・7歳半まで。7歳半以降は任意でOK

- ※5・・・平成21年5月末時点の厚生労働省は
 積極的な接種を勧奨していません